



＜本年度クラブ会長方針＞ WEEKLY REPORT No.1602  
ロータリーライフを楽しみ、  
クラブの持続的成長を図ろう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 加藤巳千彦 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F  
幹事 吉田 憲一 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1877回例会

職業奉仕月間  
令和5年1月12日(木)  
新春夜間例会  
会員58名

出席計算数 53名中49名出席  
出席率 92.45%  
前々回出席率 87.92%  
72.45%

例会プログラム

★お誕生日のお祝い

★東海交通遺児を励ます会感謝状披露

★新春夜間例会披露

「ロータリーソング」

「君が代」「四つのテスト」  
(歌唱なし)

「二」ボックス

明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとりまじり多き年となりますことを祈念申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。加藤巳千彦

- 吉田 憲一・岡部 快圓
- 尾上 昇・浅野 彰
- 藤田 澈・堀江 英弥
- 近藤宏一郎・佐々木 功
- 飯田 昭夫
- 松本 哲朗・木村 光徳
- 酒井 修・前田 隆久
- 鬼頭 茂成・山口 正孝
- 高木 政義・丹下 富博

- 林 順治・杉本 忠夫
- 川島 勇基・川合 美幸
- 横川 誠人・木村 吉伸
- 松岡 毅・池田 修人
- 松井 健・深谷 昭広
- 西岡 秀樹・内藤 啓吾
- 柴岡 正将
- 照井 栞
- 小澤 幸男
- 川畑 博敬・岡村 隆徳
- 大上 晃延・河合 誠弥
- 岡田 尚彦
- 大原 敏正
- 岡部 快雅
- 田崎 雅三

今年はおめでとうございます。今年も明るく楽しい年になりますように。荻葉 賢二  
新年おめでとうございます。親睦さんありがとう。  
今年はハネます。ピョン!  
誕生月です。  
川畑 博敬・岡村 隆徳  
大上 晃延・河合 誠弥  
岡田 尚彦  
あけましておめでとうございます。家内の誕生月です。大原 敏正  
妻の誕生月です。岡部 快雅  
母が1月19日90才になります。田崎 雅三  
本日、新春夜間例会よろしくお願ひします。親睦活動委員会一同

会長挨拶

会長 加藤巳千彦

皆さん、新年明けましておめでとうございます。今夜は新春親睦夜間例会です。昨年末の家族忘年会に引き続き、親睦活動委員会の皆さんにはお手数をおかけしますが、今夜も宜しくお願ひいたします。本日のゲスト・ヒンターはございません。まず最初に報告ですが、昨年



12月18日に東海交通遺児を励ます会の大会がありました。あいにく当日は地区補助金事業の子供食堂が開催され、私と吉田幹事はそちらに出席しておりませんでしたので、大上副幹事に大会へ出席していただき、感謝状を頂いてきてもらいました。皆様から千円ずつの寄付頂き、災害基金からも拠出させて頂き、計十万円を東海交通遺児を励ます会に寄付いたしました。その寄付に対する感謝状です。ご披露いたします。

さて、2023年、令和5年の干支は「癸卯(みずのと)」「う」であります。「癸(みずのと)」「う」は雨や霧、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しています。十干の最後にあたり、生命の終わりを意味することにも、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しています。



「癸(みずのと)」は陰陽五行説では「水の弟」と表記し、これは「水の陰」を意味します。五行の「水は静寂、堅守、停滞、冬の象徴であります。」「陰」は控えめや小さいといった意味でありますから、「癸(みずのと)」は、小寒、閑静、渋滞といったことを表しています。要は、まだ固いが少し動きが出てきた状態といったところでもあります。

一方、「卯(う)」は穏やかなつぎの様子から安全、温和の意味があります。十一支の4番目で草木が地面をおおつようになった状態を表しています。萌え出る春のイメージです。卯は陰陽五行説では「木の陰」に分類され、五行の「木」は成長、発育、誕生、春の象徴です。つまり「卯」は、控えめに成長することを表しています。

「癸(みずのと)」と「卯」の関係は、「水生木」の「相生」と呼ばれる組み合わせです。これは、水が木を育み、水がなければ木は枯れる。つまり、「癸」が「卯」を補完し生かす関係であります。

このように、令和5年の干支「癸卯(みずのと)」「う」を陰陽五行説で読み解くと、「寒気が緩み、萌芽を促す」「厳冬が去り、春の兆しが訪れること」を表しています。

「癸卯(みずのと)」「う」は、停滞した世の中に希望が芽吹き、花開く助走の年であります。これまで



積み重ねて自身の力が試される年でもありますが、最後まで諦めずに希望を持ち続けることが道を開く鍵となります。

ただし、やりすぎには注意しなければなりません。「笑」と「卯」の関係は「水生木」ですから、適度な水は木を育みますが、水のやりすぎは根腐れを起こしてしまいます。「癸卯（みずのうゝ）」の年は、無理をしすぎず、あきらめずに頑張ることが肝要です。「人事を尽くして天命を待つ」と言われるように、今まで尽くしてきた人事を信じ、おおらかな気持ちで天命を待つのも大切であります。

2023年が會員並びに、ご家族や社員の皆様に希望が芽吹く春が訪れ、輝かしい年となることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。「清聴ありがとうございます。」

**感謝状披露**

当クラブ會員からの寄付に対し、「公益財団法人東海交通遺児会」を励ます会より感謝状を頂きました。寄付金へのご協力ありがとうございました。

**新春夜間例会**

親睦活動委員会の挨拶  
委員長 仲林 宏宣  
改めましておめでとうございます。今年もよろしくお



願います。親睦活動委員会で2023年初めの新春夜間例会を運営できることまことに感謝しております。今回の例会は皆様の「場づくり」をお借りし、會員全員が楽しめる参画型の例会を企画しました。最初に加藤会長の乾杯の挨拶をいただきました。そして名古屋東急ホテルさんのおいしいディナーとドリンクを楽しみました。催しには、新年を明るく祝うチンドンショー、名古屋大須発信の「へんてん屋」さんに登場していただきました。女性らしい素晴らしいパワーを感じながら、メインイベントでは7名を指名制でステージに登壇してもらい、10名の行列を作り、皆様



が喜び姿を感じながら打楽器を演奏しながら会場を練り歩きました。そして中締めは挨拶を吉田幹事に

していただきました。皆様のおかげで、新春らしい楽しい例会となりました。ありがとうございました。

**1月26日(木) 例会の案内**

卓話  
「心療内科・精神科って  
なんじゃこら」

院長 内藤 剛大さん  
紹介者：母、富田さん

**2月2日(木) 例会の案内**

例會変更 2月3日(金)  
節分例会(職場例会)

於 大須観音堂  
12時00分~13時30分  
受付：本堂下ホール

入り口(会議室前)  
\*例会をリモート開催は致しません。  
受付で患方番号ご自身の券をお取り下さい。

**2月9日(木) 例会の案内**

ロータリー版「私の履歴書」例会  
酒井 修さん  
木村 光徳さん

\*名古屋大須案内人RCCC  
支援金並贈呈

**公共イメーション向上委員会**

木村 光徳・近藤宏一郎  
萩原 賢一・藤田 徹

\*本文は、原則 頂いた  
原稿を転載しています。

2022年は私にとって人生で一番苦しくて、大変な年でした。コロナのせいで、父が亡くなってしまったことは胸に刺さったことでした。心の痛みは今でもおさまらないですが、仕方ありません。死という事実です。。  
いい事としては、二つの小論文を出すことが出来ました。😊 できるだけ仕事に集中して、生きていきたいと思っております。小論文の一つは英語で、もう一つはトルコ語です。興味のある方はお時間がある際に、要旨の部分でもご覧いただけましたら幸いです。

Merhaba. Yeni Yılına Kutlu Olsun! **2023.1.8 E-mail from Türkiye Cumhuriyeti**

新年明けましておめでとございます。ロータリークラブの皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年のご挨拶、大変遅くなってしまい、申し訳ございません。実は、私は1月の10日に日本に行きます🌟その準備や期末試験のチェックで忙しかったので、ご連絡できず大変恐縮です。昨年、参加できなかった日本語国際センターの日本語教師教授法総合研修に今回参加できるようになって、嬉しい限りです。研修は埼玉で、1ヶ月半くらいですが、時間を作って是非名古屋にも行きたいと思えます。まだいつ頃になるかよく分かりませんが、行く前には必ずご連絡いたします。

2022年は私にとって人生で一番苦しくて、大変な年でした。コロナのせいで、父が亡くなってしまったことは胸に刺さったことでした。心の痛みは今でもおさまらないですが、仕方ありません。死という事実です。。  
いい事としては、二つの小論文を出すことが出来ました。😊 できるだけ仕事に集中して、生きていきたいと思っております。小論文の一つは英語で、もう一つはトルコ語です。興味のある方はお時間がある際に、要旨の部分でもご覧いただけましたら幸いです。

ロータリークラブの皆さまのご健康を  
心よりお祈り申し上げます。  
本年もよろしく願っています。With loves 🍷  
ウムハン・サーレ  
(2014-15年度米山記念奨学生)

**DİL ARAŞTIRMALARI**  
Journal of Language Studies  
16(1) 2022, 1-10  
ISSN 1921-1211 e-ISSN 1708-2003

**A Study on Particles used with Adverbs in Japanese\***  
Japonca'daki Zarflarla Kullanılan İlgisiz Üzlemeler Üzerine Bir Çalışma

**Öz**  
Japonca, Transzitivite dilidir. Arasında Türkçe de bu tür özellikler bulunur. Bu tür özelliklerin kullanılması, dilin anlaşılabilirliğini artırır. Bu çalışmada, Japonca'daki zarflarla kullanılan ilgisiz üzlemelerin kullanıldığı örnekler incelenmiştir. Bu çalışmada, Japonca'daki zarflarla kullanılan ilgisiz üzlemelerin kullanıldığı örnekler incelenmiştir. Bu çalışmada, Japonca'daki zarflarla kullanılan ilgisiz üzlemelerin kullanıldığı örnekler incelenmiştir.

**Abstract**  
The prevalence of use of technological tools, which is one of the greatest benefits of the digitalization era, increases also the interest in translation applications in the field of education day by day, in every field. This study was carried out in order to analyze how well the structures with collocational or idiomatic meanings are translated to the target user in translation platforms named Google Translate and Reverso, and using applications online in order to understand how and with what accuracy the grammatical structures were translated. The structures used in sentences with three main noun suffixes are analyzed. Among these structures, it has been determined that the formations with the "[E]less" noun case suffix and the "[E]noun + wa" suffix are used more frequently than the others. Besides, in the translation analysis made through translation applications, it has been observed that the Google Translate platform offers a nearly accurate translation service at a rate of 90.00%, while this rate is around 80.00% for Reverso.

**Keywords:** Japanese, verbs, Collocational meaning, Idiomatic meaning, Translation applications.

**Pamukkale Üniversitesi**  
Sosyal Bilimler Enstitüsü Dergisi  
Pamukkale University Journal of Social Sciences Institute

**JAPONCADAKI EŞ ÜZLEMELER VEYA DEYİMLER ANLAMLARI -DİJİTAL ORTAMDAKİ ÇEVİRİ UYGULAMALARI ÜZERİNE-**  
Öz  
Dijitalleşme çağının en büyük faydalarından biri olan teknolojik araçların kullanımı yaygınlaşmıştır. Bu araçların çeviri uygulamaları aracılığıyla Japonca-Türkçe çevirisi gibi dilbilimsel alanlara sahip çeviri uygulamaları kullanılmaktadır. Bu çalışmada, çeviri uygulamaları aracılığıyla Japonca-Türkçe çevirisi gibi dilbilimsel alanlara sahip çeviri uygulamaları kullanılmaktadır. Bu çalışmada, çeviri uygulamaları aracılığıyla Japonca-Türkçe çevirisi gibi dilbilimsel alanlara sahip çeviri uygulamaları kullanılmaktadır.

**Abstract**  
The prevalence of use of technological tools, which is one of the greatest benefits of the digitalization era, increases also the interest in translation applications in the field of education day by day, in every field. This study was carried out in order to analyze how well the structures with collocational or idiomatic meanings are translated to the target user in translation platforms named Google Translate and Reverso, and using applications online in order to understand how and with what accuracy the grammatical structures were translated. The structures used in sentences with three main noun suffixes are analyzed. Among these structures, it has been determined that the formations with the "[E]less" noun case suffix and the "[E]noun + wa" suffix are used more frequently than the others. Besides, in the translation analysis made through translation applications, it has been observed that the Google Translate platform offers a nearly accurate translation service at a rate of 90.00%, while this rate is around 80.00% for Reverso.

**Keywords:** Japanese, verbs, Collocational meaning, Idiomatic meaning, Translation applications.